

# ふるさと大館へ

大館ふるさと会からのたより ⑬

幹事 土田 誠さん  
(東京都板橋区在住)

世界最大規模の食文化の市場。売上高、消費量のどれをとっても世界一を誇る東京中央卸売市場で夜明けの五時を迎え、競売帽をかぶり、一本一本マグロの値付けをするのが私の一日の仕事です。一日の仕入額は、千二百万円ぐらいでしょうか。三百六十五日、年中無休での仕事は体力勝負。水産仲卸業界では最大手の会社です。



朝が早く、夜遅い仕事なので他業種とのヒューマンリレーションズは皆無に等しいのですが、そんな中で唯一の私のリフレッシュタイム、エンジョイライフは、他業種の人たちが集い、故郷の養生を願う気持ちを心一つに語り合うときなのです。また、先人たちの考え方や、知識を吸収する最高のチャンスでもあるのです。仕事がなかなか幹事会に出席できないのですが、時間の許す限り参加させていたただいております。会の有意義さや言うまでもなく、上下関係に分け隔てなく、若輩者の私どもの言動にも耳を傾け、尊重してくださる諸先輩の寛大さには頭が下

がり、感謝の気持ちでいっぱいです。

故郷を離れ、久しくなればなるほど、故郷を思う気持ちは年々強くなります。広報等で街の活性化を知るにつけ、総会で事業推進のプロジェクトを見聞きするにつけ心わくわく。皆様のたくましさや皮膚感覚で伝わってくるようです。友達同士で集うとき、故郷の自慢話は世の常ですが、故郷の繁栄は地元にとってはもちろんのこと私どもにとっても非常にうれしく、心の励みになります。今後はできるだけ幹事会に参加し、メンバーと力を合わせ、微力ながらも故郷のお役に立ちたいと決意を新たにしております。

暗い世の中と言われておりますが、心と体は常に晴々とし、人生を満喫したいものです。故郷の皆様への健康と体の健康を祈念し、結びとさせていただきます。

## これなあに？



## 大型クレーン車

平成9年6月完成を目指して建設が進められている世界最大級の木造ドーム。ここで活躍しているのが最大地上高約80mの大型クレーン車です。現在、450t、500t規模の2台が活躍しています。このクレーン車は、分解して20tトレーラー18台で運搬してきたものです。写真の中の人物と比べて見れば、だいたいの大きさが想像できると思います。こんなすごい機械で造られるドームで、おもいっきりいろいろな運動をしたいものです。

## 板橋区発 → 大館着

前略

## 大館市民になりました

⑬

☆今回は、駅迹内・向羽立の佐々木康弘さんご一家です。

Q・ご家族は何人ですか？

妻の貴美子、長女の悠、次女の円、三女の慶、長男の康二と両親の八人家族です。

Q・どちらからおいになりましたか？

私は三月、妻と子どもたちは四月に東京都板橋区から引越して来ました。実は、私は長男ですから両親と一緒に暮らすための帰郷なんです。妻は、福島県の出身です。

Q・大館の印象はいかがですか？

今は梅雨ですが、東京に比べてあまりジメジメしていないようです。また、東京にいたころはお店が近くにありませんが、大館にはあまり無く、ちよつとした買い物でも車で行かなければならないです。そのほかに、コーヒーや紅茶などの専門店があまり無いようにも思います。とても不便に感じています。

Q・食べ物や言葉はいかがですか？

野菜は、両親が作っているので、毎日新鮮なものが食べられます。このごろの人たちは、言葉がほとんど共通語になっているのですが、ちよつとしたアクセントが違いますね。子供たちは「言葉がゆつくりしている」と言いますが、妻は「あまり早口で聞き取れない」と言っています。

Q・大館に望むことは？

子供たちがゆつくり遊べる公園が少ないですね。また、路線バスが何時間に一本というところもあるようで、問題はいろいろあるのですが、充実して欲しいものです。

